

事務事業名	予算管理事務				担当	総務部 財政課 財政係			
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり				増補版施策名			
施策名	4	健全な財政運営				■ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	☐ 単年度のみ			
法令根拠	地方自治法 地方自治法施行令 真岡市財務規則等					☒ 単年度繰返（開始年度 昭和29 年度～）			
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	4. 財政管理費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	当初予算として、議会で議決されたものについて、予算の配当、補正予算の管理、予算流用承認、予備費充用の承認等を行う。これらの事務を通じて、当初予算と異なった目的で支出をしていないかなどのチェック機能を果たし、各課の適切な予算執行・管理を促す。なお、水道事業会計については、予算流用、予備費充用の承認を行っているが、予算管理そのものは別管理のため、各指標の対象から除くものとする。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 31年度実績 当初予算配当、補正予算配当、予算流用承認、予備費充用承認 2年度計画 同上				⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
				名称	単位	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(見込)	
				ア 予算流用件数	件	410	491	634	519		
				イ 予算充用件数	件	46	73	53	50		
				ウ							
				エ							
				オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 予算執行				⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
				名称	単位	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(見込)	
				ア 予算配当額	千円	62,647,359	57,037,598	55,415,093	61,578,750		
				イ 予算流用額	千円	173,498	184,872	233,556	267,329		
				ウ 予備費充用額	千円	17,542	18,655	14,223	23,686		
				エ							
				オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 予算の適正な執行				⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
				名称	単位	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(見込)	
				ア 予算に占める流用・充用の割合	%	0.3	0.4	0.4	0.5		
				イ							
				ウ							
				エ							
				オ							
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 健全な財政運営				⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
				名称	単位	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(見込)	
				ア 実質収支	千円	1,490,526	1,605,266	2,206,159			
				イ							
				ウ							
				エ							
				オ							
(2) 総事業費の推移				単位	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0	0		
			一般財源	千円	0	0	0	0	0		
			事業費計（A）	千円	0	0	0	0	0		
	人件費		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2		
			延べ業務時間	時間	150	150	150	150	150		
			人件費計（B）	千円	623	623	625	606	606		
			トータルコスト(A)+(B)	千円	623	623	625	606	606		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？		・ 予算管理は市政運営の基礎であることから、市制施行とともに開始した事務である。									
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは 5 年前と比べてどう変わったのか？		・ 新財務システムの導入が図られ、システムの処理速度が向上した。 ・ 厳しい財政事情での予算編成となっているため、より厳格な予算流用、予備費充用の審査となっている。									
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？											